

# もし大きい地震が起きたら

R5.4月改定  
臼井幼稚園

## 園内で

---

- \* 揺れを感じたら……園内放送で「だんご虫をしましょう」と放送。教室にいる子ども達は教室の中央でダンゴムシポーズになる。その間に防災頭巾があれば、子どもの上のせていく。窓を開ける。ダンゴムシポーズをしながら（誰のものでもいい）防災頭巾をかぶる。
- \* 園庭にいる子ども達は園庭の中央の安全な場所で教師の指示に従い、ダンゴムシポーズをとる。
- \* 揺れがおさまらない場合は……園内放送で「上履きのままお外に出ましょう」と放送。園庭またはホールへ避難。
- \* 大きい揺れの場合……「上履きのままお外に出ましょう」で、即時避難する。

※第一避難所；臼井幼稚園 園庭

第二避難所；臼井小学校

## バスの運行中

---

- \* 送迎バスは、運転を中止し路肩に停車、揺れがおさまるまで待機。
- \* 状況を見て、運行可能な場合は、通常通り巡回する。
- \* 道路の状況、バスの状態などにより運行不可能な場合は、まず無線で幼稚園へ連絡。無線、携帯電話がつかない場合は、運転手と乗務職員の誘導により、一番近い小、中、高校などの指定避難場所へ避難。
- \* 幼稚園が近い（1km 以内）場合は幼稚園へ戻る。

☆東日本大震災の時は、千葉県佐倉市は震度 5 弱でした。2 便のバスの運行中でしたが、揺れがおさまったため、そのまま運行を再開しました。しかし、子ども達の安全を考えて、3 便の子ども達は保護者にお迎えに来て頂きました。まだ幼稚園にいたバス待ちの子ども達、課外教室の子ども達、職員は全員園庭へ避難し、防寒、おやつ配布などを行ない、保護者のお迎えを待ちました。全員のお迎えが終了したのは午後 5 時半でした。

## 園外保育中

---

- \* 公園の場合は、頭上に何も無い所へ集合し、ダンゴムシポーズで待機。
- \* 園児の人数を再確認し、幼稚園へ連絡をして指示を受ける。

## 連絡方法

---

\* 連絡アプリ、ツイッター、インスタグラム、ホームページ（電話が通じなくても、インターネットは使っていた経験に基づいて）で状況を知らせます。メールが使えればメールで保護者の皆さまに連絡します。ご連絡がなくても、お迎えに来られるまで幼稚園でお子さんを安全にお預かりします。

普段使わなくても、ツイッターの登録をしておいて下さい。

## 防災備蓄品の確認

---

- \* 防災備品リュックを各クラスに設置。
- \* 防災倉庫 ……毎年 1 回、点検確認。
  - ・非常食 ・飲料水 ・テント ・簡易トイレ ・工具類 ・オムツ ・毛布

☆各教室にある、浄水器（ハイドロピュア）は電気が通っていれば、印旛沼の水や泥水も浄水して飲むことができます。

## 防災の考え方

---

災害は、突然の地震だけではありません。近年、ゲリラ豪雨により川が氾濫、土砂崩れなどということもありますが、幸い臼井幼稚園の立地で土砂災害はまずないだろうと考えられます。しかし、油断は禁物です。万が一、急なゲリラ豪雨で印旛沼が氾濫しそうで避難が必要！という時には、臼井小学校への速やかな避難を行ないます。

天気予報の精度が上がり、台風の円の大きさが最近小さくなったことにお気付きの方もいらっしゃるでしょう、かなりの確率で降水量などの予測もできるようになったそうです。台風の直撃、ひどい風雨が予想される場合、県庁や佐倉市からの情報提供などにより、幼稚園はあらかじめ休園することをお知らせすることもあります。

「備えあって憂いなし」急な休園では親御さんも困るだろうと、考えないではありませんが、ここは大切なお子さんの命の問題。万全を期すことに、ご理解下さい。